

保護者用 (7月中旬～7月下旬回収)

令和2年度 岐阜県立飛騨高山高等学校(通信制課程) アンケート結果

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

対 象	人数	回収数	回収率
未成年生徒 保護者	70	49	70%

*評価欄は上段は人数、下段は%である。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

通 番	項 目	A	B	C	D	E
学 校 教 育 経 方 営 針	1 学校の教育目標である「心身ともに健やかで、より豊かな人間性 と生きる力を備えた生徒の育成を目指す」に共感できる。	18 92%	27 0%	0 0%	0 8%	4
	2 学校は、教育目標である「創造性にあふれ、明朗快活で心豊か な人間性を養う」ように努めている。	12 80%	27 6%	3 14%	0	7
	3 お子様(子ども)はよるこんで学校に行っている。	13 80%	26 18%	9 2%	0	1
	4 単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育 成しようとする校風が感じられる。	9 84%	32 4%	2 12%	0	6
家 庭 と の 連 携	5 学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)に分かりやすく 伝えている。	15 84%	26 10%	5 8%	0	4
	6 学校からの連絡文書等は、保護者(地域)に確実に届けられて いる。	29 94%	17 6%	3 0%	0	0
	7 学校は、保護者(地域)が授業や学校行事等を参観する機会等 の有無、又はその実施方法等について、新型コロナウイルス感 染症対策を最優先にして、適切に計画している。	30 92%	15 2%	1 4%	0	2
	8 学校は、保護者(地域)の悩みや相談に適切に対応している。	19 82%	21 2%	1 16%	0	8
	9 学校は、ホームページ等を用いて、保護者(地域)へ様々な情 報を速やかに伝えている。	25 82%	15 12%	6 6%	0	3
	10 学校は、部活動後援会等の関係団体の徴収金について、その予 算や決算、経費の執行内容を詳細に公表している。	17 71%	18 6%	3 22%	0	11
	11 一斉配信メールサービスは有効に活用されている。	35 96%	12 4%	2 0%	0	0
	12 教職員は各種文書や個人情報等を適切に管理している。	19 76%	18 0%	0 24%	0	12
13 「通信」等をとおして、主体的に進路を選択し、決定できる能 力の育成を図っている。	12 76%	25 10%	5 14%	0	7	
教 職 員	14 学校を訪問したり、電話したりしたときの教職員の対応(挨拶 や話し方)が適切である。	24 94%	22 6%	3 0%	0	0
	15 教職員は学校経営や教育活動に熱心に取り組み、魅力ある学校 づくりの意気込みが感じられる。	18 86%	24 8%	4 6%	0	3
	16 教員は授業をとおして、学力が向上するように指導している。	15 82%	25 4%	2 14%	0	7
	17 学校は、体罰の防止に努めている。	23 84%	18 0%	0 16%	0	8
	18 学校の教職員は、働き方改革に努めている。	16 67%	17 0%	0 33%	0	16
学 習 指 導	19 学校は、できるだけ選択授業や少人数授業又はオンライン授業 を行い、生徒の理解を高めようと努力している。	16 78%	22 8%	3 14%	1	7
	20 授業や家庭学習への指導・支援等をとおして一人一人の能力に 応じた指導を行っている。	13 65%	19 8%	4 27%	0	13

通 番		A	B	C	D	E	
生徒指導	21	学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている。	12	22	3	0	12
			69%		6%		24%
	22	学校では教育相談係が個々の生徒に対して適切な指導を行っている。	14	20	4	0	11
		69%		8%		22%	
	23	学校は、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	16	18	1	0	14
		69%		2%		29%	
進路指導	24	学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。	14	27	2	0	6
			84%		4%		12%
	25	学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。	12	20	6	0	11
		65%		12%		22%	
健全安全管理	26	学校は生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている。	18	20	2	0	9
			78%		4%		18%
	27	地震や台風等の場合の対応について、生徒や保護者（地域）に対策マニュアルが知らされている。	26	19	3	1	0
		92%		8%		0%	
学校行事	28	学校は、外部講師の講演や様々な体験活動等の授業以外の学習機会及び学校行事の有無、又はその実施方法等について、生徒の安全を最優先とし、新型コロナウイルス感染症対策を講じて適切に計画している。	22	21	0	0	6
			88%		0%		12%
	29	学校では、部活動が適切な管理体制のもとに、適切に行われている。	15	15	4	0	15
			61%		8%		31%
	30	学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。	23	20	4	0	2
		88%		8%		4%	
	31	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	13	15	4	0	16
		57%		8%		33%	
学校独自項目	32	飛騨高山高等学校通信制課程は、この地域になくてはならない重要な存在である。	35	14	0	0	0
			100%		0%		0%
	33	学校は、生徒にとってより良い人間関係を学ぶ場となっている。	27	19	3	0	0
			94%		6%		0%
	34	学校は個別スクーリングや夜間学習会など、個別指導にも力を入れている。	27	18	1	0	3
		92%		2%		6%	
	35	学校が発行する「ご家庭の皆様へ」「飛騨通信」「クラス通信」などは、学校の様子を知るのに役立っている。	26	21	1	0	1
		96%		2%		2%	
	36	レポートに対する添削指導は、適切に行われている。	37	9	1	0	2
		94%		2%		4%	
合 計			715	720	100	2	225
			81%		6%		13%

令和2年度 岐阜県立飛騨高山高等学校(通信制課程)アンケート結果分析

保護者用 (7月中旬～7月下旬回収)

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A: よくあてはまる
- B: ややあてはまる
- C: あまりあてはまらない
- D: まったくあてはまらない
- E: わからない

対象	人数	回収数	回収率
未成年生徒 保護者	70	49	70%

※ABを肯定的評価、CDを否定的評価とする。番号は、本年度の質問項目の番号である。

<肯定的評価上位5項目>

番号	項目	本年度	昨年度
32	飛騨高山高等学校通信制課程は、この地域になくてはならない重要な存在である。	100%	100%
11	一斉配信メールサービスは有効に活用されている。	96%	97%
35	学校が発行する「ご家庭の皆様へ」「飛騨通信」「クラス通信」などは、学校の様子を知るのに役立っている。	96%	97%
36	レポートに対する添削指導は、適切に行われている。	94%	95%
14	学校を訪問したり、電話したりしたときの教職員の対応(挨拶や話し方)が適切である。	94%	100%

・全体として肯定的評価を多くいただくことができた。飛騨地域に唯一の公立通信制として、地域の期待に応えられるよう、学校・保護者・地域が三位一体となり、通信制教育を進めていくことが求められている。今後も、保護者の意見を伺い学校と保護者が連携を図り、より良い通信制教育を進めていきたいと考えている。

<否定的評価上位5項目>

番号	項目	本年度	昨年度
3	お子様(子ども)はよろこんで学校に行っている。	18%	13%
25	学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。	12%	3%
9	学校は、ホームページ等を用いて、保護者(地域)へ様々な情報を速やかに伝えている。	8%	5%
5	学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)に分かりやすく伝えている。	10%	5%
13	「通信」等をおとして、主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っている。	8%	8%

・昨年度と比較して、否定的評価の率が高い。「情報発信」に関する要望が多い結果だと考えられるので、スクリーニング時における指導の内容だけでなく、中長期的な見通しについても懇談やホームページ、すぐメール等を活用して伝えていけるよう努めたい。

<「わからない」との評価上位3項目>

番号	項目	本年度	昨年度
18	学校の教職員は、働き方改革に努めている。	33%	48%
31	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	33%	38%
29	学校では、部活動が適切な管理体制のもとに、適切に行われている。	31%	28%

・「働き方改革」についての項目は昨年度追加されたものであるが、保護者からは職員の働き方が見えにくい面もあり、このような結果となったと考えられる。
 ・保護者は「もっと学校からの情報を発信してほしい」という意向があると感じられるので、広報活動をさらに充実させて、「わからない」という評価を減らしていきたい。